

経営比較分析表（令和2年度決算）

北海道 陸別町

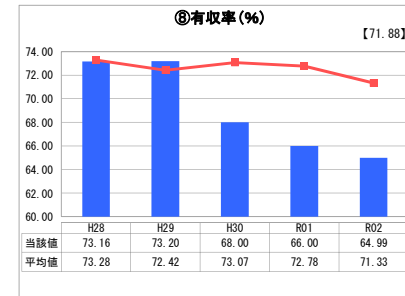
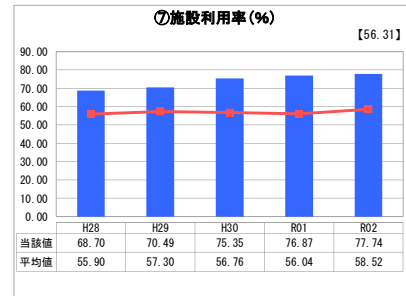
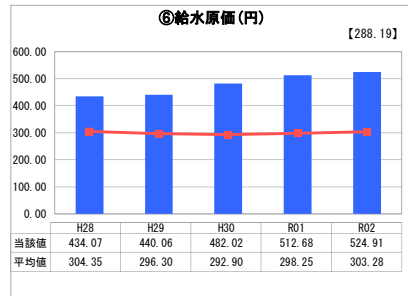
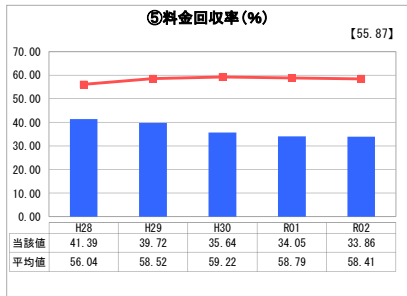
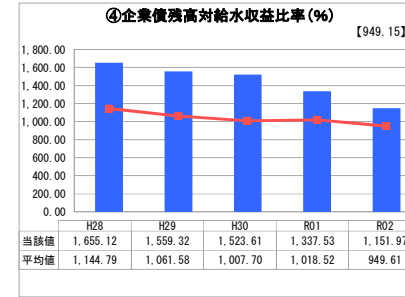
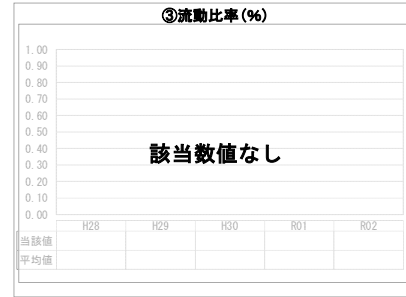
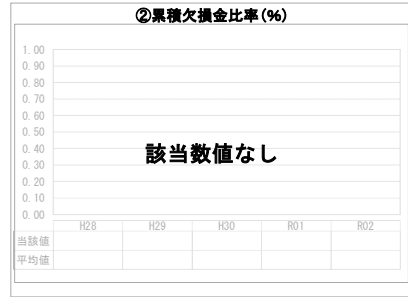
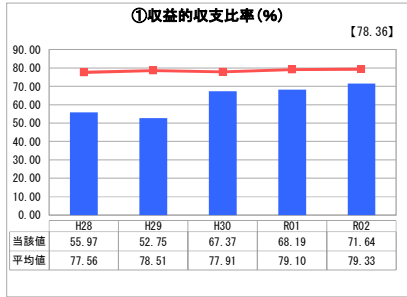
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	88.00	4,375	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,314	608.90	3.80
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,016	42.90	46.99

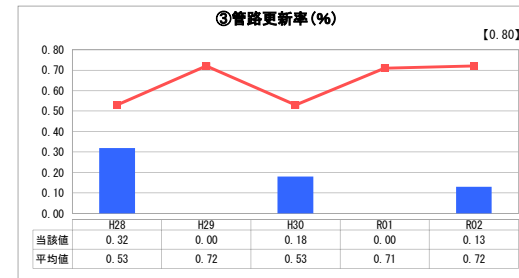
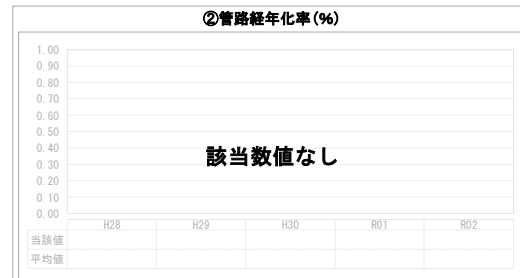
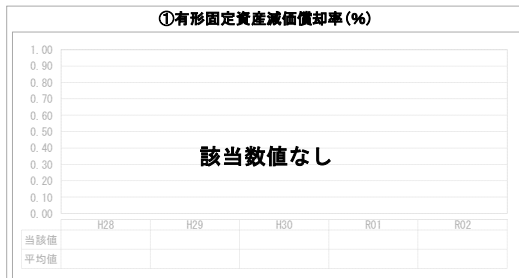
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については昨年を若干上回り、料金回収率は若干下回っているため、一般会計からの繰入金に強く依存している状況にあります。令和5年度以降は起債償還金が減少していくため収益的収支比率及び料金回収率については改善していく見込みです。

企業債残高対給水収益率については、平成3年度に着手した統合簡易水道事業による起債の影響が大きいです。償還の終了により令和3年度以降起債残高が減少していくため比率についても減少していきます。

給水原価については、令和4年度までは起債償還金が増加するので年々上昇の見込みですが、令和5年度以降は起債償還金が減少するので給水原価も減少する見込みです。

施設利用率については昨年度を上回っていますが、漏水による配水量の増加が一因としてあるため、計画的に漏水調査を行い有収率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

計装機器等の更新については、平成26年度から国庫補助により着手、令和元年度に整備を完了しています。管路については、今年度市街地区の老朽管の更新を道路工事に併せて実施しています。今後につきましても随時実施していきます。施設等については、築後30年未満で比較的新しい施設ですが、今後更新の計画を検討していきます。

全体総括

令和6年度以降は起債償還金が大きく減少し、収支の改善が期待されますが、現状では的確な資産の把握がされておらず、経営状況については不透明なものとなっております。このため、今年度経営戦略の策定を完了し、今後は公営企業会計の導入など経営状況の明確化を行ってまいります。